

# 心臓大動脈弁病変の外科的治療

～柔軟に選択する患者さんに合った治療～



心臓外科

## 國原 孝 診療部長

心臓には4つの弁があり、大動脈弁が左心室から体全体に血液を送り出す働きをしています。

大動脈弁の主な病気には、

加齢などにより大動脈弁が石灰化して

狭くなる大動脈弁狭窄症と大動脈弁がうまく閉じないために血液が逆流する大動脈弁閉鎖不全症があります。

治療にあたり、心臓外科医や循環器内科医など専門家ハートチームが協力して、患者様にとって最適な治療方法をご提案しています。



<石灰化した大動脈弁>

重症の大動脈弁狭窄症では、

弁を取り替える治療をします。弁には機械弁と生体弁の2種類あり、年齢や持病など様々な要素を考慮し、患者様の希望も考慮した上で選択します。



© エドワーズライフサイエンス (株)



© 泉工医科工業株式会社

比較的若い方の大動脈弁閉鎖不全症は、患者様ご自身の弁を使う大動脈弁形成術を実施しています。この手術を行っている医療機関は全国でも少なく、ドイツの専門施設でトレーニングを受けた國原診療部長にぜひご相談ください。



### 動画概要

心臓大動脈弁病変に対する外科的治療について

心臓外科 國原 孝 診療部長

詳細については、QRコードを読み取り動画をご視聴ください。

JIKEI VIDEOS



YouTube